

## BMC 海外派遣報告

化学専攻 構造有機化学研究室  
博士前期課程 2年 猪口 大輔

**参加学会: the 8th International Symposium of Functional  $\pi$ -Electron Systems**

**会場: Graz University of Technology (Graz, Austria)**

**派遣期間: 2008. 7.20–26**

BMC プログラム・海外派遣の御支援の元、私はグラーツ工科大学にて催された「**the 8th International Symposium of Functional  $\pi$ -Electron Systems (F $\pi$ 8)**」に参加しポスター発表を行いました。グラーツはオーストリアの首都ウィーンの南に位置しており、第二観光都市でありグラーツの旧市街がユネスコ世界遺産に登録されており非常に街並みが美しく、この街中に今回の学会会場となったグラーツ工科大学が位置していました。



今回私は海外で催される国際学会に初めて参加するという事で、非常に緊張し発表を行ないました。今回の目的は、「有機 $\pi$ 電子系化合物の合成とその機能について最先端の研究の情報を収集してくる」と「英語に慣れること」として学会に参加しました。学会期間中は新奇有機 $\pi$ 電子系化合物の合成法について新たな知見を得ることができ、またその機能について有機 FET 素子や有機 EL 素子など近い将来に応用可能な技術が議論されており、基素的な研究を行っている私にとって非常に興味深い講演ばかりでした。

ポスター発表では、世界中の研究者たちが私の発表に様々な問いかけをし、その中でつたない英語ではあったと思いますが、様々なディスカッションをしました。このことが非常に有意義であり、また国際学会に参加して世界中に自分の研究をアピールしたいと考えるようになりました。このためには英語力を付けなければいけないと思いました。

最後になりましたが今回の海外派遣に御理解を頂き、また支援して下さいました皆様に感謝を述べたいと思います。

